

スポーツ大会

フォトギャラリー

7月2日、合併後、初めての総合スポーツ大会が各会場において15種目、約2千人の参加により盛大に開催されました。選手の素敵な姿を紹介します。



極めて珍しい「チヨウウセンブナ」を発見

絶滅といわれていた希少な淡水魚「チヨウウセンブナ」が先月、行方市内で見つかり、話題になっています。チヨウウセンブナ(トウギョ科)は、その名のように大正3年(1914年)に朝鮮半島から移入され、関東地方を中心に繁殖し、霞ヶ浦でも棲息。霞ヶ浦では、1930年当時土浦付近、特に流入河川の溝等に多く生息していました。1953年頃にはかなり減少し、その後今日まで忘れられてきた魚と化していました。4〜8センチ程度の雑食の小魚で尾びれに特徴があり、通常の魚の場合は二又していますが、チヨウウセンブナの場合は丸味に近い形をしています。

チヨウウセンブナを発見した、ふれあいランドの外岡健夫さんは、「昭和43年(1968年)から霞ヶ浦周辺の生態調査をしているが、チヨウウセンブナを見たのは初めて。なぜ、今頃チヨウウセンブナが見つかったのかわからない。ひそかに生き延びていたのか、謎に満ちた魚だ。この広い霞ヶ浦の中で、行方市内で発見されたことに意義がある。どれくらい生きるのかも分からないとても貴重なチヨウウセンブナをぜひ、たくさんの人にほしい」と話してくれました。

特徴 体色は緑褐色、青色のオビが有り、ヒレは赤色をおびている。

霞ヶ浦ふれあいランドでは、この大変珍しいチヨウウセンブナを展示していますので、是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。